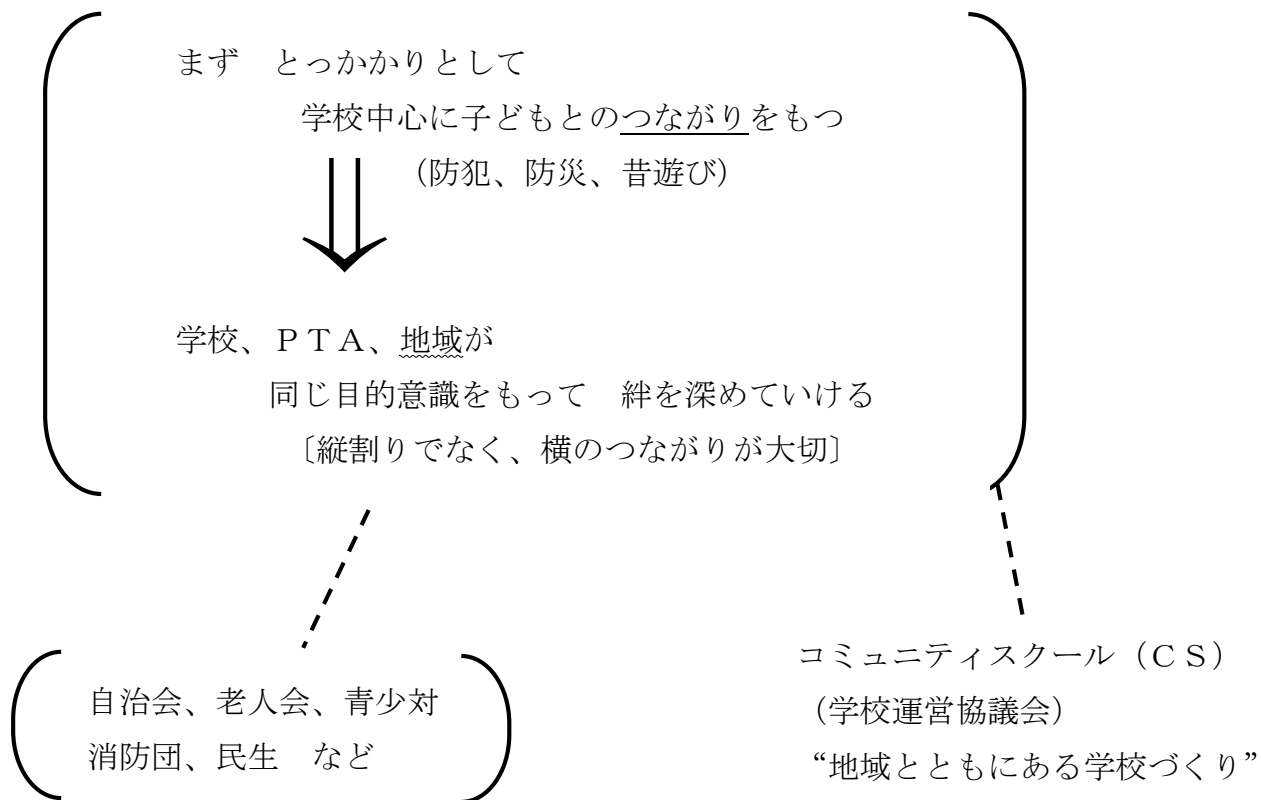
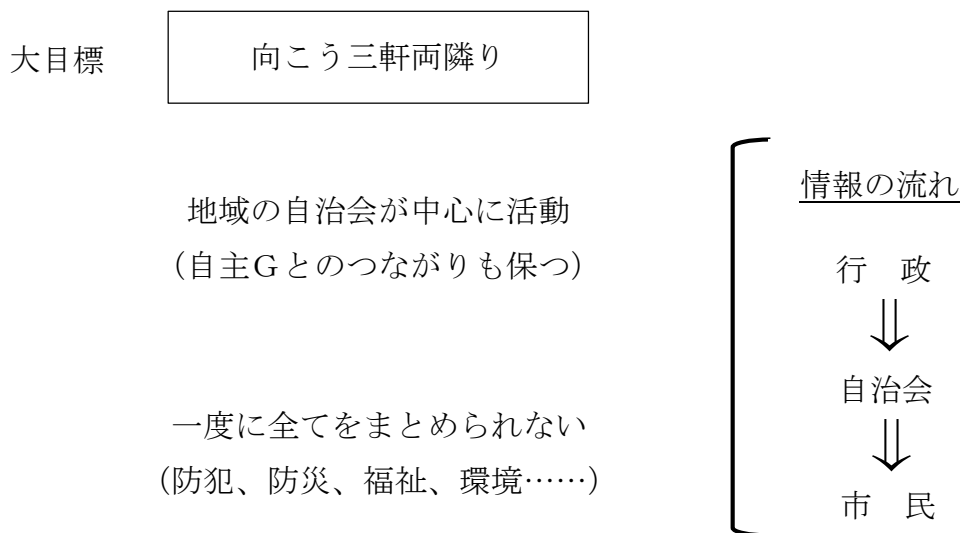


各グループから出た意見等について

第1グループ
市のまとめ

地域における文化センターの役割等



第2グループ

市のまとめ

具体的な意見

- ・ コミ協活動を圏域自治会の会員に広報する。(コミ協役員による出前活動)
- ・ 子どもをターゲットにした催しを行う。(親、祖父母世代の参加が見込まれる)
- ・ 20代の若者に対し、コミ協のPRを行う。
- ・ コミ協の人員構成の際、年代にも考慮する。
- ・ 自治会に入っていない人もコミ協に入れるよう、必ず枠を設ける。
- ・ コミ協月間を設ける。(コミ協を知ってもらうため)

文化センターに求めるもの

- ・ 地域には様々な組織があり、多くの方がその中で活動しているが、団体どうしがうまくつながっていない。文化センターも含めた諸団体とのつながりの強化を図る。

第3グループ

市のまとめ

具体的な意見

- ・ 行事ごとの案内チラシを、自治会・町会の掲示板や個人宅、公会堂、各学校(幼稚園や保育園含む)、商店の店頭などに配布し広報活動を強化する。
- ・ 地域の諸団体の懇親会(防犯協会、青年会、PTA、自主グループ、民生委員、地域包括支援センター、社会福祉協議会等)でコミ協行事等について検討してもらう。
- ・ コミ協の会則を見直す。(自主グループやPTA、NPOなどから幅広い人材登用を行い、活性化を図るため)

文化センターに求めるもの

- ・ 各種行事の広報について工夫をし、特に若い人達の参加増を図る。

第2グループ

全ての意見（箇条書き）

- 広報紙の全戸配布、情報の提示
- 自治会会員、加入促進
- 文化センターの案内
- コミ協のPR、若者、特に20代男性
- 地域の諸団体とつながり強化
- 各文化センターからセンター便りを作成し、市全体で配布したら？
- 自治会各人への周知ができていない。自治会への周知を積極的にやっては？
- 親や祖父母が参加してくるので、子ども相手の事業をもっときめ細かくやっては？
- 自主グループからの人材の登用
- 文化センターの名は知っていても、その中の「コミ協」の活動が理解されていないから、PRすることが望まれる。
- コミ協の活動を圏域自治会の会員に広報してもらって理解してもらおう。
- 参加者が固定されている。
- 文化センター施設で、いまだに「浴場」提供サービスが必要か検討する（廃止方向で進める）
- コミ協の行事参加者を増やすために「圏域自治会」の活用を考える。
- 文化センターの地域住民がもっと参加しやすい方法を工夫する。（回覧板を自治会にまわすだけではダメ。）
- 世論調査で、コミ協を知らない人が多くて、びっくりした。やはり、情報発信の仕方を考えるべき。
- 市の広報紙配布方法もさることながら、センターの発信する情報誌も必要。
- 子どもをターゲットにした催しをすると、親世代、その上の祖父母世代も参加してくれて、多様な年齢層を集めることができると思う。
- 世論調査で、20歳代が「夏祭り」に期待しているのに、驚いた。
夏祭り＝コミ協のアピールが必要なのかもと思う。
- いろいろな組織がたくさんあり、たくさんの人がその中で活動しているが、その団体同士が横につながっていない気がする。うまくつながる方法はないか？⇒文化センターの役割？
- コミ協や青少対、その他いろいろな人員構成をするときに、年代別にも考慮して、集めてみたらどうか？
- 文化センター利用の際、「内にやさしく、外に厳しい」感じにすると、いざなにかをするときに関りの少ない人は入ってこないと思う。

- 「自治会<コミ協」にしてしまうと、自治会に入っていない人は、なかなか地域に入ってこない。自治会に入っていない人も、コミ協に入れる枠を設けるといいと思う。
- 新聞に挟んだ広報紙は、新聞を取っていない世帯が多いので、情報誌の意味をなさない。ポスティングにして、情報の周知を図るといい。
- 何かの催しをするときに、「コミ協に入っていない」や「自主グループに入っていない」などで枠を作ることもなく、誰でも参加できる枠を設けて、若干の人がそこに必ず入れるようにするといいと思う。
- 「コミ協」とはということを、文書で出してもいいと思う。チラシを作る。例えば、「5月をコミ協月間」とかに設定し、5月には知っている人も知らない人にもチラシを配布する。地域を知ってもらうことができると思う。

第3グループ

全ての意見（箇条書き）

- 文化センターの認知度を上げるための方法（文化センターの役割を尽くすため）。
- 各種行事の広報について工夫が必要。
- 行事ごとのポスター提示、町会の掲示板、個人宅へ。
- 公会堂、各学校、幼稚園、商店店頭へチラシの作成・配布。
- 口コミの活用、町会旅行時、敬老会時。
- 老人会会合時、防災訓練等の機会に伝達する。
- 地域諸団体との懇談会、コミ協役員、防犯協会、消防団、青年会、子ども会、PTA会長、自主グループ、民生委員、包括センター、社会福祉協議会で行事等について検討。
- PR方法として、各自治会の会合において、コミ協のPRをやってもらうよう要請してほしい。
- 自主グループからも人材を登用して活性化を図るため、会の規定の見直し等も必要。
- 運営母体の拡充。現在は自治会主体であるがPTA、NPO、自主グループ等から広く人材を集めて行うことで、若い人達も参加しやすくなる。
- コミ協のPRをもっと積極的に行い、知名度を上げてほしい。これにより、若い人達の参加増を図りたい。
- 自治会のコミ協への加入促進。
- コミ協の役員を選出や運営も各コミ協によって違うことも分かった。地域差の問題が多い。文化センターの圏域の問題もあるような気がする。
- 今回の集まりによって、他のコミ協の事業やその事業のやり方が少し分かり参考になったので、センターの交流がもっとあったらと思う。
- 文化センターの中の児童館・公民館・高齢者福祉館等の運営委員の考え方がコミ協の方には伝わって来ない。コミ協の事業にも参考になるのではないか。
- 行事をするのに広報が大変難しい。自治会の回覧や市広報ではなかなか……